



保護者の皆様へ

—あいりん幼稚園より

幼稚園アンケート

入園をご検討の皆様へ

どんな幼稚園か、雰囲気を感じていただけますと幸いです^^
ぜひのぞいてみてください♪

アンケートにご回答くださり、ありがとうございます

たくさんの方から温かいお声をいただき、教職員一同大変嬉しく、ありがたく感じております。

いただきましたご意見・ご要望に対しましても引き続き検討し改善に努めてまいります。

今後どうぞ、忌憚なきご意見をちょうだいできれば幸いです。

子どもたち、ご家族の皆さま、地域の方々、教職員
愛隣幼稚園に携わるすべての皆さまがより良い人生を歩めるよう
愛隣幼稚園も進歩してまいります。

どうぞよろしくお願いたします。

愛隣幼稚園 園長

アンケート結果

愛隣幼稚園を選んだ理由 第1位: あたたかい雰囲気

愛隣幼稚園の素敵なおところ 第1位: 先生が素敵



「あたたかい雰囲気」「先生が素敵！」

というお言葉は 本当にありがたいです

先生たちの優しい性格や パーソナリティに加え、園の伝統や 教育方針

そして 保護者の皆さまのご協力があるからこそ 順位かと存じます

「あたたかい雰囲気」や「先生の良さ」を発揮できるのは

実は ご家庭の皆様が、愛隣幼稚園に

とても協力的で、子どもたちや教職員に お優しいからなのです

以下に...

愛隣幼稚園の先生たちが 保育の中で 大切にしていることを、少しご紹介させていただきます

「評価のプレッシャー」の中でも、私たちが大切にしていること

保護者の皆様と 先生が 同じ方向を向くとき、保育は あたたかくなります

私たち教員は、常に「評価」を受けながら 保育を行っています。その評価に 応えようとしすぎると 指導が厳しくなり 子どもを「形にはめよう」とする傾向が生まれてしまいます。

例えば...

歌の時間に一人のお子さんが 歌っていなかったとします

「絶対に歌わせてください」という要望が続くと、担任の「歌ってほしい」という気持ちは どんどん強くなり、その子への指導が細かくなってしまいますが...!!

「歌いたくない日もあるよね」

「お歌はまだ得意じゃないけど、製作は大好きだもんね」

「声は出てなくても、心ではみんなと歌ってるつもりなのかもしれないね」

その子の気持ちを
汲み取ろうとすれば...
指導は「教えるもの」から
「一緒に考える・応援するもの」へと
自然に変わっていきます!!



保護者の皆様のご理解が、私たちの保育を支えています



日々の「まなざし」が、子どもの育ちをはぐくみます

「エプロン汚れちゃった」 → たくさん遊んだ証拠

「けんかしちゃった」 → 自分の思いを伝えられた成長

「ママやって」 → "幼稚園では頑張ってるから"の心の言葉

そのようにお子さんたちを見守ってくださる
優しいご家族の皆さんに、私たちもたくさんのごことを
赦していただいているので
お子さんと一緒に考え、悩み、その子の気持ちに
できるだけ寄り添った保育が行えております。

愛隣幼稚園の保護者の皆様は ホントにすごい！

これまで幼稚園に来てくださった、たくさんの大学の先生たちからいただいたお言葉です。
そんな素敵なお家族の皆さんだからこそ、私たちも 私たちらしく保育が行えています。



アンケートでいただいたご質問にお答えします

先生方にもお話を伺ってみました！！ どの先生がどの回答をしたでしょうか？



日々の保育

Q トイレになかなか行ってくれないときにどうやって声をかけたらいいですか？

A 「一緒に行く？一人で行く？」と子どもに選択肢を与えると子どもたちが自分で決めて「行こう」という気持ちになれることがあります。その時に行けるとよいのですが、行けないときもたくさんあります。行きたい気持ちを表すところからスタートできるようにしています。

また、トイレに子どもたちが興味を持っているものを貼ってみたりもします。「例えば、動物が好きな子にはトイレを動物園に見立てて「ペンギンいるか探してきてね」と楽しみがあるようにすると、おトイレも楽しみに1つになります。

Q 本人がやりたくないことをやってほしい時の声かけのコツがあれば知りたい

A いったん「へ～そっかあ」と受け止めて、こちらが試してみます。楽しそうにしてみたり、失敗したり、おちゃらけてみたり、難しいな～と困ってみたり、「ちょっとやってみたいな」「違うよこうだよ」と言ってくれるまで待ってみます。それでも難しければ、別の機会にしたり、その子がしたいことを少しして、満足してからもう一度提案してみます。

子ども同士の関係

Q 子どもが「苦手なお友だちがいる。。。｣と伝えてきた時にどうやって答えてあげたらよいですか？

A そのお子さんの気持ちをまずは否定しないようにしています。苦手な理由があるので、その理由を受け止めてあげます。どうして苦手なのか話を聞きだすと共に苦手なお友達の好きなところも引き出してみます。苦手なところもありますが、好きなところや素敵なのところも必ずあります。そうして、気持ちを少し整理してっていきます。

また、「みんなと仲良くする必要はないけど、意地悪はしないでいられるといいね」「困ったことがあったらまた教えてね」と伝えて、お友だちを傷つけないルールを一緒に考えたり、伝えたりします。

Q 喧嘩した時は双方の言い分があると思いますが、どのように声掛けしていますか？また、見ていないときに喧嘩がおこったらどうしていますか？

A 何があったのかお互いからそれぞれお話を聞いて、保育者も状況が理解できるようにしています。また、まだ説明できない年齢が小さい子などは、園庭で他の子が見ていたらその子たちにも聞いて理解できるようにします。そして、相手にも自分の気持ちや思いが知ってもらえるように、その子の気持ちも受け止めながら、お互いの気持ちを伝えあえるようにしたり、落ち着いて話ができるように声を掛けます。お互いが納得できるまで時間が必要な時は、時間をかけ、相手が傷つくことをしなかったり、自分が悪いことをしたという思いがあったり、子どもから出てきた思いを大切にしながら話し合いができるようにしています。



保護者・行事

Q 私たち保護者に対して細かい要望があれば是非伝えてほしいなと思います。
廃材を持ってくるタイミングなど教えてください

A 廃材について：

- * 門にいる先生やバスの先生に手渡してくださると助かります。
- * 牛乳パックや空き箱はつぶさずに持ってきてくださると色々な場面で使えます。
- * 梅雨の時期や真夏、真冬はお部屋で遊ぶことが増え、廃材が足りないことがあるので沢山持ってきてくださるととても助かります。

要望：

- * 毎日、名前のない落し物が沢山あります。お子様も無くして落ち込む姿も見られるので、ティッシュやハンカチなど小さなものでもお名前を書いていただくと助かります。

Q

同窓会で集まる年齢には何か意味がありますか？

A

卒園生がよく遊びに来てくれますが、ある日、中学を卒業したお子さん3人が訪ねてきました。彼らは今度、高校生に上がるにあたって是非幼稚園の同窓会をしてくれと言うことでした。中学卒業した春休みに入ってすぐならみんなも時間があるし、幼稚園も保育が終わっているので、前園長も大賛成でした。

開いてみるとみんな恥ずかし思いや懐かしい思いなど様々な思いを持ってきてくれましたが、会えばすぐ打ち解けてとても楽しんでくれて、園庭では三輪車に乗ったり鬼ごっこをしたり（ぜんぜんかわらない〜）幼稚園時代にもどったようでした。次の年は発信者がOBとして会を盛り上げてくれました。

それからずっと中学卒業するこの時期に行うのが続き、その発信者の子も今は36才になったと思います。高校でまた出会う子もいたり、遠いところに行く子や反対に他府県に引っ越したのにわざわざ来てくれた子など、さまざまな人生を送る子どもたちが出会う会ですが、みんな光の子で輝いて自分の人生を楽しんでほしいと願います。

Q

男性の会で残ってしまった作業を先生方がやらなければならない負担を考えると手伝いたいです！

A

ありがとうございます！そのように言っていただけると大変うれしいです。運動会の準備は子どもたちとも行います。みんなが主役、みんなで作る運動会です。男性の会で残ってしまう作業は少しありますが、それでもとっても助かっています。

実は、男性の会だけでなく、いろいろと他にもお手伝いしていただきたいことがあるそうです。また募集があると思いますので、ぜひお力をお貸しいただけると嬉しいです。

Q 回覧板を使って、めぐみの会の案内を周知するのはどうでしょうか？

A 素敵なアイデアをありがとうございます。総代さんに聞いてみます！

「めぐみの会」とは
子育て中の方なら
どなたでも、気軽に
参加していただける
会です♪詳しくは
お問合せください！

設備・運営

Q 築山は今後どうなりますか？あと築山ができたことで、夏のプールの場所は
どうするの？

A 子どもたちがいつでも自由に築山で遊べるようにしようと思います！また、
季節に合わせた植物が築山で楽しめたり、築山にできた植物の実を外遊びの
おまごどで使えたらと思います。花や実ができるのが楽しみです。築山に
入れるようになった子どもたちは、興味津々で花やラディッシュを眺めてい
ます。中には抜こうとしてみる子もいますが、周りの子から注意されたりも
します。そうして、ルールを守ったり、自然を大切にする気持ちも育ててい
けたら嬉しいです。

プールの場所は、築山の隣に設置する予定です。

音楽・工作

Q 日々の工作は担任の先生が決めているのですか？それとも各学年によって決
まっているのですか？

A 学年で統一しているものと各クラスの先生が決めているもの、どちらもあり
ます。どちらもそれぞれの学年・クラスの子どもの成長やその時の興味
に合わせたテーマや作り方、材料・道具などを考え楽しんで行うことができ
るように工夫して保育に取り入れるようにしています。

教育課程という愛隣幼稚園での3年間のおおまかな流れ(計画)のようなものが
あって、毎学期他学年の流れも確認しながらテーマを先生が考えたり、子ど
もたちと考えたりしています。小さい組さんは大きくなった姿を予想しなが
ら、大きい組さんは小さい時の経験を生かせるよう、つながりも大切に考え
ています。

Q

愛隣幼稚園ではピアノや鼓笛隊などをされておらず、手作りの楽器で演奏されていることに驚きました。子どもに聞くと楽器はあるということで、お別れ会などの特別な時に出てくるのかな？と思っていました。音楽に力を入れてほしいということではなく、幼少期の成長過程における音楽の大切さをどういうふうに考えて保育をされているのか聞いてみたいです

A

人には臨界期とか敏感期と呼ばれるものがあります。「特定の能力が自然に、かつ効率よく獲得できる限られた時期」と言えるでしょうか。臨界期はその時期を過ぎると獲得ができにくくなるもの、敏感期はその後も獲得できるが獲得しにくくなるものを示しています。

人の音楽的な成長にも敏感期があります。絶対音感なんかは、幼少期に獲得しないと純粋な絶対音感は身につかないと言われたりすることもあります。なので、「音楽家になりたい！」「将来、音楽関係の仕事をしたい！」というお子さんは、早い時期から音楽に触れましようと言われるわけですね。

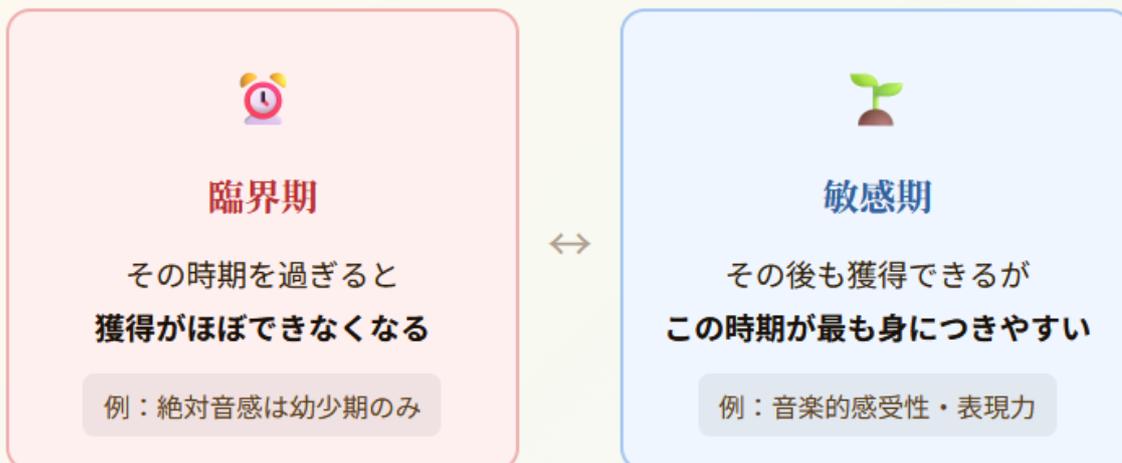
ただ、愛隣幼稚園で取り扱う音楽は、読んで字の如く「音を楽しむ」ことを大切にしています。幼稚園は専門家を育てるのではなく、いろいろなことに触れ、総合的に育つことを大切にしています。その1つが「音」です。なので、「音」を聞いて、友だちと一緒に顔を合わせて笑ったり、「これってゾウの声に似てない？」と話し合ったり、「僕が叩いたら、A君が叩いて」と息を合わせたり、そんな音を使った楽しさも味わってほしいと思っています。

強い風が吹く音を「ビューって吹いてた！！」と表現する子、何げなく叩いた段ボールの音が「ぼんっ」と響いて「ぼうん、だってwww」「こっちは？こっちは？」と試してみる子、飛躍しているかもしれませんが、そうしたこと1つ1つが「音楽」の土台になり、お友だちとの人間関係になり、表現となり、楽しさとなるのだと考えています。

「きれいな音を奏でる」、「素敵な声で歌う」その前には、ガチャガチャ好きに叩いてみる、好きな歌詞だけ大声で歌う、そんなプロセスがあって、そのさらに前には雨の音や物が落ちた時の音を感じたり、自分なりに好きな音を見つけたり、うるさい音に耳をふさいだりという経験があるのではないのでしょうか。

子どもの時だけでなく音楽が好きな人になってほしい、表現が好きな子に育ってほしいからこそ、上手に弾けなくても、歌えなくても、自分なりに満足できる音を楽しんで、お友だちと一緒に笑いあって、音楽を味わう経験をたくさんしてほしいと思っています。

📖 臨界期・敏感期とは？



年齢のイメージ

0歳 3歳 6歳 9歳 12歳 15歳～

臨界期（例：絶対音感）

敏感期（音楽的感受性）

🎵 幼稚園期

ポイント：愛隣幼稚園の保育は「専門家を育てる」ことが目的ではなく、この大切な敏感期に「音を楽しむ」豊かな体験を積み重ねることを重視しています。

🎵 音楽的成長のプロセス





なお、皆さまからいただいたアンケートの
回答は園長のみが確認させていただきました。

園長以外の者が個別の回答内容を
直接見ることはありません。

また、無記名で実施しておりますので、
回答された方が特定されることもございません。
その点、ご安心していただければ幸いです。

